

平成29年（2017年）

WES 通信 11月号

定価250円

今月号のトピックス

- ◎ 中学生「中間テスト対策」終了（10月9日（月）～17日（火））
- ◎ 中間テスト成績優秀者発表
- ◎ 期末テスト対策（“ぶっ期末”）
- ◎ 成績優秀者インタビュー（S.K君）
- ◎ WILLの卒業生来塾
- ◎ WILLの卒業生たち～第5回T.Mさん～



- ◎ 塾長コラム～「勉強って何？」～
- ◎ 11・12月イベント
中3生実力テスト対策（11/3～5）
保護者懇談会実施（11/11・12）
中学生、2学期「ぶっ期末」開催 他
- ◎ 11月・12月の予定
予定表は必ずチェックしてね！
※（お詫び）先生紹介はお休みします。

堺で生まれて23年、子どもたちの未来を育む — 1クラス6名の超少人数制学習塾

WILL WES method of hybrid curriculum
教育ゼミ

堺市北区東雲東町1-6-23宝永ビル2F

TEL:072-254-9988・FAX:072-254-9998

e-mail: willzemi@themis.ocn.ne.jp

中学生「中間テスト対策」イベント

2学期「輝け！中間テストで」終了！！



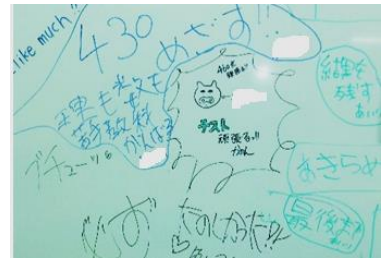
(略称“ピカ中”)

—— 10月9日(月)～10月17日(火) ——

◎ 97%の生徒が参加！！

中学生の皆さん、2学期「ピカ中」お疲れさまでした～。

今回の「ピカ中」参加率は97%。ほとんどの生徒が参加してくれました。



中間テストを控えて、やる気満々の生徒の落書き～！



真剣にテスト勉強に励む生徒たち

そして、前回の「ぶっ期末」同様、ほとんどの生徒が欠席もなくほぼすべての授業に参加。誰一人弱音を吐くこともなく頑張ってくれたことに、私たち講師一同、生徒の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

◎ 4科目で100点満点！！

さて、そんな中、今回4科目(英語・数学・理科・社会)で100点満点を取った生徒がいました。



これには先生たちも本当に驚きました。

というのも、過去3科目100点という生徒は何人かいましたが、4科目100点は初めてのことだったからです。

しかも、**残りの1科目国語も90点を獲得し、合計490点。**

その当事者である S.A さんに尋ねたところ、特に何か特別なことをしたわけではないとのこと。

ただ、塾でも学校でも、普段の授業を一生懸命受けることと、「ピカ中」で集中して勉強したということだけだったそうです。

また、それ以外にも入塾後、3回あった数学のテストで3回連続100点を取った生徒も現れました。

中2生の S.H 君です。元々数学が好きだった S 君ですが、入塾前は70点台だったのが、入塾後にあったすべての定期テストで100点満点を取ってくれました。これからも、ずっと100点目指して頑張ってくださいね。

◎ 学校の提出物・課題

さて、そんな中で気になったのが、学校から定期テスト前に出される課題、提出物です。調べてみたところ、その量は半端ではないんです。ワークやプリント類合わせて200ページを超えているんです。



ざっと見積もっても、総時間数40時間以上は必要な量です。これが、約1週間前に発表されるんです。

1週間前から始めて、できるわけがありません。7日で割ると、1日当たり5時間以上かかるんです。ましてや、テスト1週間前にもかかわらず、部活がある生徒もいるんですから。（前述の4科目100点の S.A さんもテスト前に部活をしていました。）



しかも、その提出物の中には、だれの目から見ても、直前にやる事が全くと言っていいほど無意味なものもあります。（例えば、完全に覚えきっている英単語の写しをひたすらやらせるものや、数学の苦手な生徒には、どう考えてもできるわけがない入試問題を数多く載せているワークを50ページ以上もやらせる宿題等。）

しかし、中学校では生徒の出来、不出来など全くお構いなく一律に同じ課題が出されます。（中には良いものも当然ありますが、...）

つまり、テストで少しでも良い点数をとるためには、テスト前に提出物だけをひたすらやるということは間違いなんです。

かと言って、提出物である以上やらないわけにはいきません。

じゃあどうすればいいかということ、

「提出物として出される可能性のある課題は、テスト1週間前には終えるように、より早く手を付ける。」

ことしか方法がないのです。

◎ **高得点を取った生徒はどうだったのか？**

実は、今回の S.A さんや、前回 492 点を取り毎回のよう
に高得点を獲得している S.K 君は、テスト対策が始まる前にはす
でに提出物を終えていたんです。

つまり、「ピカ中」では、提出物のために時間は一切使わず、
テスト勉強だけをしていたんです。

それも、特別なこと、例えば、市販の問題集を買ってやったり、特殊な勉強法があったりしたというわけではないんです。

学校のワークのやり直しと、塾で与えられたテスト対策プリントをひたすらやっただけなんです。



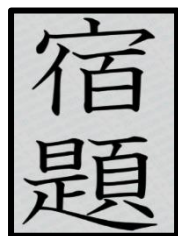
一方、今回の中間テストで思うような結果が出なかった生徒の皆さんはいかがですか？

「ピカ中」の間、ほとんどの時間を提出物・課題を終わらせることに費やしていませんか？

私が見たところでは、かなりの生徒たちが「ピカ中」の間中、提出物をやることに多くの時間を費やしていたように思います。

中には、テスト前日も提出物をしていた生徒がいました。

残念ながら、そのような生徒たちの多くは、あまり良い結果が出ていなかったのではないのでしょうか？



ましてや、現在 WILL ではほとんど宿題を課していません。というより、英語・数学では宿題を出すことを禁止しているのです。

家庭で、学校の宿題をする時間は十分にあるはずですよ。

11月末には、また期末テストが始まります。

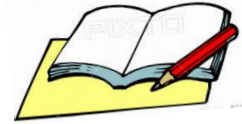
今回思うように点数が取れなかった生徒たちは、まず学校の提出物を早く終わらせて下さい。

塾のテスト対策のイベントは、提出物をするためではなく、あくまで、テストの対策のための時間であるということを、決して忘れないでくださいね。

2学期中間テスト成績優秀者発表

中間テスト

<成績優秀者>



5科 450点以上…10人

490点 (長尾1年 S.Aさん)	・ 479点 (長尾1年 Y.Aさん)
473点 (長尾3年 H.Tさん)	・ 472点 (長尾3年 S.K君)
472点 (長尾2年 O.Sさん)	・ 467点 (長尾2年 I.Aさん)
467点 (長尾1年 M.Mさん)	・ 465点 (長尾2年 T.T君)
462点 (長尾3年 Y.Mさん)	・ 458点 (長尾3年 H.Aさん)

5科 400点以上…21人

438点 (長尾2年 S.H君)	・ 437点 (長尾3年 Y.Yさん)
434点 (長尾3年 T.Mさん)	・ 434点 (長尾1年 T.Aさん)
433点 (長尾2年 S.J君)	・ 427点 (長尾3年 W.Y君)
427点 (長尾1年 Y.Kさん)	・ 425点 (長尾3年 K.Kさん)
425点 (浅香山3年 H.M君)	・ 424点 (長尾1年 K.K君)
423点 (長尾1年 Y.Kさん)	・ 421点 (長尾3年 H.Hさん)
418点 (長尾2年 S.H君)	・ 415点 (長尾3年 T.Y君)
414点 (長尾3年 I.Nさん)	・ 411点 (長尾1年 F.S君) 他

100点満点…8人



理科 (長尾3年 S.K君) ・ 数学 (長尾2年 T.T君) ・ 数学 (長尾2年 S.H君)
 理科 (三国2年 T.Uさん) ・ 数学 (長尾1年 S.Aさん) ・ 英語 (長尾1年 S.Aさん)
 理科 (長尾1年 S.Aさん) ・ 社会 (長尾1年 S.Aさん)

※満点に一步及ばず、惜しい90点台…のべ80人

※ 成績優秀者の氏名は、教室に掲示しています。

※ 紙面の都合上、掲載できなかった皆さんゴメンナサイ<m(_ _)m>

2学期期末テストも頑張りましょう！

成績優秀者インタビュー

(中3生 S.K君)

1学期期末テストで492点を取り、毎回のように450点以上を獲得している S.K君に話を聞きました。

—— 期末テストでの492点はすごかったね。

S.K君「はい、自分でもびっくりしました。」

—— 期末テストは学年1番だったけど、いつも高得点を取れるのはどうして？

S.K君「多分、ライバルの存在が大きいと思います。前回負けたんで、今度はって．．．。すごく仲のいい友達と競い合っているのが、結果に結びついていると思います。」

—— 他には？

S.K君「切り替えがうまくできているんじゃないかと。やるときは集中してやるし、それ以外の時は、勉強を忘れてできるだけリラックスするようにしています。」

—— 家庭での勉強はどう？何か特別な勉強とかしてる？

S.K君「家ではほとんど勉強してません(笑)。音楽を聴いたり、好きな本を読んだり．．．。勉強は、塾の自習室を使ってやっていることが多いので」

—— お母さんから「勉強しなさい！」なんて言われたい？

S.K君「はい、まったく言われませんね。それがありがたいです。塾や学校で精一杯頑張っているんで、あまり言われるとやる気がそがれます。だから、母が何も言わないで、好きにやらせてもらっているんで、感謝してます。」

—— WILL で頑張っている後輩たちに、何かアドバイスが欲しいんだけど。

S.K君「アドバイスとかそんな偉そうなことは言えませんが、提出物は早く終えたほうがいいです。それと、塾や学校の授業を大切にすることです。後、家ではみんななかなか勉強できないと思うんで、塾の自習室を利用したほうがいいと思います。それに、WILLのテスト対策は有難いです。一人ではあんなに勉強できないですから。」

—— ありがとう。2学期の期末テストも頑張ってください。

S.K君「はい、精一杯頑張ります。」

(来月は S.A さんです)

WILL 教育ゼミ 期末テスト対策イベント

2学期「ぶっとばせ！期末テスト」

キ マ
(略称“ぶっ期末”！！)

11月20日(月)～11月30日(木)【中学校により期間が異なります】

「つい、この間中間テストが終わったばかりなのに. . . .」
なんて考えていませんか？のんびり構えていると、あっという間に期末テストが始まってしまいます。

特に、中間テストであまり結果が良くなかった生徒の皆さん、
期末テストでは、是非とも挽回してください。



今回も WILL 期末テスト対策イベント“ぶっ期末”を開催します。



その前には、提出物を極力終えるようにしてくださいね。

今から始めても、全然早すぎることはないですよ。提出物として、出されるであろうワーク類は、すでに習った分野から順に終えていくようにしましょう。

そして、「ぶっ期末」が始まったときには、ほとんど提出物を終えていて、テスト勉強だけに集中できるようにしてください。

きっちりと結果を出している人がやっていることをやれば、必ず全員が良い結果を得られるはずです。

それすらやらないで、「結果が出ない. . . .」なんて言っている人は、いつまでたってもよい結果なんて得られるはずはありませんよね。

まず、自分ができるところから始めましょう。

そして、今年最後のテストを、自分が納得結果を出して締めくくりにしましょうね。

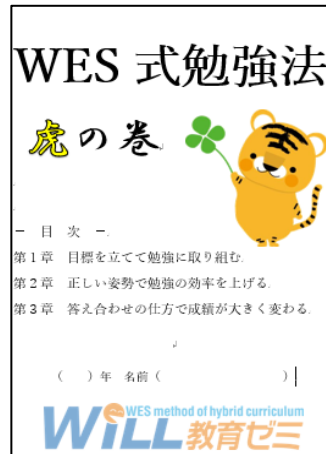
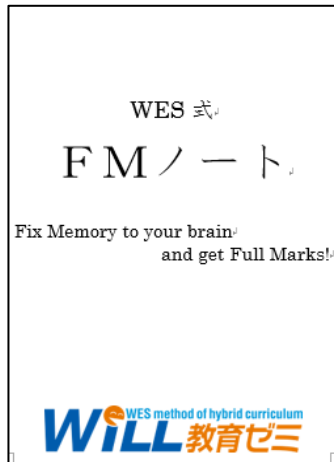


2学期“ぶっ期末”の詳細は後日お送りします。

WILL 生成績アップ

応援アイテム！！

「FM ノート」 & 「WES 式勉強法 “虎の巻”」



まずは「FM ノート」一。

生徒の皆さんには、もうすでにお渡ししていますね。

自分の「わからない問題」「できない問題」を明確にし、それが「わかる」「できる」ようになるために開発したオリジナルノートです。

精一杯活用してくださいね。ただし、このノートは次回以降、20p tでの販売となります。非売品ですので、現金では買えません。（ポイント不足の人は相談してください。）

そして「WES 式勉強法 “虎の巻”」一

実はまだ完成していませんが、間もなく完成します。

“ぶっ期末”開始時には、生徒の皆さん全員にお渡しします。（もちろん無料で）

成績が伸びるために必要なことを凝縮した冊子です。

「勉強のしかたがわからない」「勉強やっても成績が伸びない」と悩んでいる生徒の皆さん。これを読めば、きっと役に立つはずです。

完成まで今しばらくお待ちください。お楽しみに。

(卒業生 来塾)

10月もたくさんの卒業生が来塾してくれました。

まずは久しぶりの来塾のS.Kさん。
小4から通塾し、私立中学に合格したS.Kさん。(当時は中学受験もやっていました。現在は受付していません。)



久しぶりの来塾、S.Kさん。

もう23歳、すっかりお姉さんになっていました。
今年大学を卒業し、現在は資格試験合格を目指して勉強中とのこと。
頑張ってくださいね～。



テスト勉強をしに来たY.R君とH.T君

続いて、中間テストの勉強をしに来てくれた高校生。

まずは今年、高校に入学したY.R君とH.T君。
中学校の時よりも熱心に(?)勉強する姿に、私も思わず笑みがこぼれてきました。

まだ、高校生活が始まったばかり。決して無理しすぎることなく、3年間頑張ってくださいね。

次に、同じくテスト勉強をしに来た女子3人組。彼女たちも今年高校に入学したピカピカの高1生。

左からT.Sさん、F.Nさん、A.Nさんです。やっと高校生活にも慣れてきた感じ。熱心にテスト勉強に励んでいました。



いつも明るい3人組。左からT.Sさん、F.Nさん、A.Nさん。



相変わらずひょうきんなK.T

そして、現在高校2年生の二人、K.T君とA.Y君。

K.T君は、公立のS高校入学直後は学年トップクラスの成績だったのが、最近少し下降気味とのこと。
中間テストでは頑張って挽回したいと、熱心に勉強に励んでいました。



部活と勉強の両立、A.Y君

そして、私立の進学校S高校のA.Y君。
高校入学後も大好きな野球を続けています。進学校なので、勉強はかなり大変みたいですが、高校生活はとても充実しているようです。

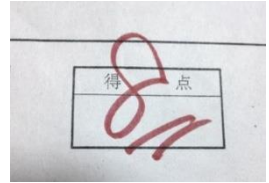
その他にも、たくさんの卒業生が来塾してくれました。
また、気が向いたら訪ねてくださいね。

<WILLの卒業生たち> ~第5回 T.Mさん~

私が塾を始めて最初に入塾をお断りした生徒がいる。T.Mさんだ。

二年生の終わり、3月にTさんは塾を訪ねてきた。

話を聞くと、**二年生の学年末テストの成績が五科目で80点。中には点数が一桁の科目もあった。しかし「公立高校のK高校へ行きたい」と言う。**私はその時、あまりにも可能性が低いと入塾をお断りした。



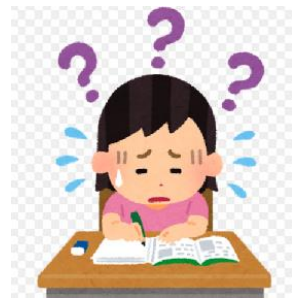
ところが、それでも諦めずに、その翌日再び母親と来塾したのだ。

「WILLに入って、いきなり150点以上アップした」という友人の話聞き、どうしても入塾したいというのである。

断り続けていたが、結局Tさんの熱意に負け、とうとう入塾を許可した。

「本当に成績を上げてあげられるのだろうか」という不安を抱きながら授業を開始した。

案の定彼女は一年生からの内容が理解不足で、三年生の授業になかなかついてこれなかった。ところが、**Tさんは勉強が分かりたい一心で授業の無い日にも毎日塾へ来ては勉強をしていた。**



GWを目前に控えた時である。

「塾長、GW何時から来たらいい？」私はドキッとした。

GWは休みにしようと言ったのだが「だって入塾の時に毎日来いって言ったやん！」と彼女は食らいつき、しぶしぶ一日だけ塾を開けることにした。結局Tさんは朝10時から夜9時まで塾にいたのである。



Tさんはずっとそんな調子だった。とにかく一途で、決めたことは絶対にやり通す頑固さがあった。正直、私自身がたじろぐほど熱心に塾へ通い努力を続けた。

そんな中、私自身も手応えを感じ始めてきた。出来なかったことが徐々に出来るようになってきたのだ。**最初の間テストで250点をクリアした。**

(次のページにつづく)

ここまで塾が開いている日にTさんの顔を見ない日は一度も無かった。その後もTさんの毎日の塾通いは続いた。1学期の期末テストでは300点近い点数を取り、Tさんも勉強に対する自信が少しずつ出てきたように思えた。

そして、夏休みも終わり、2学期をむかえた。受験生にとっては、そろそろ志望校を考えなければならない時期がやってきた。Tさんの志望校は相変わらず公立のK高校。その時点での成績では、まだまだ遠い志望校であった。

Tさんは私に、「K高校、行ける？」と何度も尋ねてきた。不安で仕方なかったのだ。そのつど、私は「大丈夫、そのまま頑張れば、絶対に行けるから」と答えた。



実のところ、そう答えた私自身にも不安がなかったわけではなかった。

**2学期になり、定期テストでは350点を取るまでになっていた。
入塾当初からは考えられないような点数だった。**

しかし、実力テスト、模試の成績は、なかなか結果が伴わなかったのである。

ところが、Tさんはそれまで以上に努力をした。結果2学期の期末テストで380点をクリア。実力テスト、模試の成績はまだ少し足りなかったが、学校の先生方もTさんの頑張りに応じてくれた。二学期末時点でK高校相応の内申点を付けてもらえたのだ。

そして受験。TさんはK高校に合格した。Tさんの努力が奇跡を起こした。

私はTさんに頭を下げた。

「ごめんね。最初に入塾を断って」「ううん、塾長がWILLに入れてくれたからここまで頑張れてん。塾長ありがとう」

Tさんの言葉に私の目から涙がこぼれてきた。それ以来、私は入塾時点での成績で入塾をお断りすることを止めた。



**Tさんのことを思い出す度に感じることもある。夢を叶えたいという強い気持ちと、一度決めたことは絶対に続けるという実行力があれば必ず実を結ぶ。
継続こそ最大の力であるということ。**

(ホームページより転載。一部改編)

<塾長コラム> ～「勉強って何？」～

勉強をしようと思っても、「一体何をすればいいかわからない」という声をよく聞きます。

今回は、そんな皆さんに「勉強」の方法をお伝えしましょう。

まず、「勉強」って一体何をすることをすることだと思いますか？

「授業を受けること？」「問題集をすること？」「教科書を読んで覚えること？」それぞれ、間違いではありません。



でも、**勉強の本質は**

「わからない」ことを「わかるようにする」ことであり、「できない」ことを「できるようにする」ことなんです。

そのために必要なことは、まず自分が「できること」が何で、「できないこと」が何であるか知ることなんです。



例えば、数学であれば、まず自分が勉強したいことの単元の問題集をやってみます。

そこで、間違えた問題があれば、それが今自分の出来ていない問題です。

また、どうして解けばいいかわからない問題があれば、それはあなたが今、わかっていない問題なんです。

そのような問題は、解答や解説を読んだり、教材・ノートを調べたりして、まず自分の力でわかるようにしましょう。それでもわからない問題は、先生に質問しましょう。

次に、わかった問題は、必ず自分一人の力でできるまで繰り返しやってみることで。

多くの生徒たちは、「わかった」という段階で、その問題を終了してしまうんです。

いいですか、**「わかる」＝「できる」ではないんです。「わかる」ことは「できる」ために必要なことではあるけれども、絶対に「イコール」ではないのです。**

いくらわかっていても、できなければ得点に結びつかないんです。

だから、「わかっていたのに. . .」間違っしまい、思うように点数が取れないことがよくあるのです。

「できる」をたくさん積みかさねることで、自信がつき、確実に点数に結びついてくるんです。



「できる」ことを増やすためには膨大な時間がかかります。だから、皆さんは「ぶっ期末」や「ピカ中」等で大量の学習をしてるんですね。

「できる」をたくさん増やし、自分の夢の実現に向けて頑張ってください。私たちも、できる限りの応援をしていきます。

<WILL 教育ゼミ 11・12月のイベント>

1. 小学生・中1・中2生「保護者懇談会」の実施について

11月11日(土)・11月12日(日)に小学生・中1・中2生の保護者懇談会を実施いたします。

※詳しい時間帯につきましては、「保護者懇談会のご案内」をご覧ください。

2. 中3生実力テスト対策

11月度の実力テストに向けて、下記の日程で「実力テスト対策」を実施します。

11月 3日(金)～5日(日) … 中3生全員

※ 時間など詳細につきましては、直接生徒の皆さんにお伝えいたします。

3. 中学生「期末テスト対策イベント『ぶっ^ま期末』」実施

11月20日(月)～30日(木)【中学校により期間が異なります】

※ 詳細につきましては、後日「“ぶっ^ま期末”のご案内」をお送りします。

4. 講師研修会

12月1日(金)～3日(日) 講師研修会

※ この期間、講師研修会のためすべての授業はありません。

5. 11月・12月の祝祭日の授業について

11月 3日(金) (文化の日) 塾 通常授業あり(中3生は実力対策もあります)

11月23日(木) (勤労感謝の日) 塾 通常授業あり(中学生は“ぶっ^ま期末”予定)

12月23日(土) (天皇誕生日) 塾 通常授業あり

6. 中3生三者懇談会の実施について

12月9日(土)・10日(日)に中3生の三者懇談会を実施いたします。

※詳細につきましては、「保護者懇談会のご案内」をご覧ください。

年間予定表では12月2日・3日となっていますが、変更いたします。

7. 塾の冬休みについて

12月 29日(金)～ 1月3日(水)

※ この期間を塾の冬休みとします。この期間のすべての授業はありません。

帰省やご旅行等で塾を欠席される場合は、事前にご連絡をお願いします。

8. 冬期講習(中3生)・チャレンジ対策(中1・2生)

中3生 冬期講習 12月23日(土)～1月8日(月)

※ 詳細につきましては、後日「冬期講習のご案内」をお送りいたします。

中1・2生 チャレンジ対策 12月25日(月)～28日(木)


※ 詳細につきましては、後日「チャレンジ対策のご案内」をお送りいたします。

小学生 冬期学習イベント実施 12月25日(月)～1月5日(金)

月	日	曜	行事予定	月	日	曜	行事予定
11	1	水		12	1	金	講師研修会 (塾休み)
	2	木			2	土	
	3	金	(文化の日) 塾授業あり		3	日	
	4	土			4	月	
	5	日	模擬・学力テスト (中1・2生)		5	火	中3生「作文対策講座」開始
	6	月			6	水	
	7	火			7	木	
	8	水			8	金	
	9	木	学力テスト (小学生)		9	土	中3生
	10	金	長尾中・浅香山中11月度実力テスト		10	日	三者懇談会
	11	土	小学生・中1・中2生		11	月	
	12	日	保護者懇談会		12	火	
	13	月	五ツ木模試(12日)		13	水	
	14	火			14	木	
	15	水			15	金	
	16	木			16	土	
	17	金			17	日	
	18	土			18	月	
	19	日	模擬テスト (中3生)		19	火	
	20	月			20	水	
	21	火			21	木	
	22	水			22	金	
	23	木	(勤労感謝の日) 授業あり		23	土	(天皇誕生日)授業あり
	24	金			24	日	中3生 冬期講習(前期)
	25	土			25	月	
	26	日			26	火	
	27	月			27	水	中1・2生 チャレンジ対策
	28	火			28	木	
	29	水			29	金	塾 冬休み (塾休み)
	30	木			30	土	
					31	日	



堺で生まれて23年、子どもたちの未来を育む —— 1クラス6名の超少人数制学習塾

 **WILL** WES method of hybrid curriculum
教育ゼミ

堺市北区東雲東町1-6-23宝永ビル2F

Tel 072(254)9988 Fax 072(254)9998

e-mail: willzemi@themis.ocn.ne.jp

HP <http://jukutown.com/will-education/>